

# 工藤 勇一

横浜創英中学・高等学校 前校長

東京理科大学理学部応用数学科卒業。山形県で数学の中学校教諭を5年務めた後、東京都台東区の中学校に赴任。その後、東京都や目黒区の教育委員会、新宿区教育委員会教育指導課長などを経て、2020年3月までの6年間、千代田区立麹町中学校の校長を務める。2020年4月に横浜創英中学・高等学校の校長に就任し、2024年3月まで務める。現在、内閣府規制改革推進会議専門委員、群馬県非認知教育専門家委員会委員、兵庫県芦屋市教育委員会エージェンシードバイザー、FC今治高等学校里山校エグゼクティブコーチ、法政大学HOSEI2030推進本部アドバイザーなどの要職を務める。著書に、10万部のベストセラーになっ『学校の当たり前をやめた』（時事通信社）他、『麹町中学校の型破り校長 非常識な教え』（SBクリエイティブ）、『子どもが生きる力をつけるために親ができること』（かんき出版）、『きみを強くする50の言葉』（かんき出版）、『校長の力—学校が変わらない理由、変わらせる秘訣』（中公新書ラクレ）など多数。



2025

夏 サマ!

セミナー

MIRAI 教育研究会

## 木村 泰子

大阪市立大空小学校 初代校長  
大阪府生まれ。2006年に開校した大阪市立大空小学校の初代校長を9年間務める。大空小学校では「すべての子どもの学習権を保障する」という理念のもと、教職員や地域の人たちとともに障害の有無にかかわらず、すべての子どもがいつもいっしょに学び合っている。2015年には大空小学校の1年間を追ったドキュメンタリー映画「みんなの学校」が公開され、大きな反響を呼んだ。この映画は文部科学省の特別選定作品にも選ばれ、現在も全国各地の教育現場などで自主上映されている。2015年春に、45年間の教員生活を終え、現在は講演やセミナーで全国の人たちと学び合っている。著書に、『お母さんを支える言葉』（清流出版）、『学校の未来はここから始まる』（教育開発研究社）、『「ほんとのこと」は親には言えない』（家の光社）、『「見えない学力」の育て方』（青春出版）、『「ふつうの子」なんて、どこにもいない』（家の光協会）、『「みんなの学校」が教えてくれたこと』（小学館）、『「みんなの学校」をつくるために』（小学館）、『「みんなの学校」から「みんなの社会」へ』（岩波ブックレット）、『「みんなの学校」から社会を変える』（小学館）、『21世紀を生きる力』（水王舎）、『「みんなの学校」流 自ら学ぶ子の育て方』（小学館）、『タテマエ抜きの教育論』（小学館）など多数。

## 倉成 英俊

株式会社Creative Project Base 代表 / アクティブラーニングこんなのどうだろう研究所 共同所長

1975年佐賀県生まれ。小学校の時の将来の夢は「発明家」。2000年電通入社、クリエイティブ局に配属。多数の広告を企画制作後、そのスキルを超拡大応用し、各社新規事業部の新プロジェクト創出支援や、APEC JAPAN 2010、東京モーターショー2011、IMF/世界銀行総会2012日本開催、国体が国民スポーツ大会に変わった最初の大会「SAGA2024」など、様々なジャンルのプロジェクトをリード/プロデュースする。2014年、副業などの個人活動を持つ社員56人と「電通Bチーム」を組織。2015年には「アクティブラーニングこんなのどうだろう研究所」をスタート。2020年7月1日CreativeProject Baseを創業。著書に『伝説の授業採集』、『出島組織というやり方』、『仕事に「好き」を、混ぜていく。』他。バルセロナのデザイナーMarti Guxieにより日本人初のex-designerに認定される。

第15回高知の子どもたちの未来を拓く教育セミナー  
新しい社会の形成に向けて挑戦する  
子どもを育む学校経営の推進

高知共済会館

教職員等教育関係者定員 130名 定員になり次第締め切ります  
一般参加費 3000円 MIRAI教育研究会の会員・準会員は無料

令和7年

7月26日

9:50-16:35

MIRAI教育研究会

<https://miraikyoiku.net>



